

第48期中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

48 INTERIM REPORT

Good luck. Good life.

SANKYO

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。第48期中間報告書をお届けするにあたり、ここにご挨拶を申し上げます。



代表取締役会長
高島孝行



代表取締役社長
筒井公久

近況のご報告と企業価値向上・株主還元策についての取り組み

東日本大震災からの復興需要等により国内の経済は一部持ち直しの動きが見られたものの、世界経済の減速を受け、先行きが不透明な状況にあります。当パチンコ・パチスロ業界におきましてはファンの消費抑制が続いており、パーラーによる遊技機需要は有力商品に一極集中する傾向が見られます。近年の遊技機製造においては、著名コンテンツを使ったエンターテインメント化が加速しており、機種開発が複雑化し高コスト化が進む反面、液晶演出が広く一般的になったため一見して差別化が難しく、各メーカーの持つブランド力がパーラーの購買意欲を左右する状況にあります。当社グループにおきましては、これまでSANKYO、Bistyの2大ブランドで事業を展開してまいりましたが、平成24年3月より株式会社ジェイビー（JB）を新たにグループに迎え、これからはパチンコ・パチスロともに

3ブランドによる柔軟な戦略をパーラーへ提供できる体制を整えてまいります。

このような環境の下、当社グループでは第48期の販売に注力してまいりましたが、上半期までの状況を踏まえ販売戦略を見直し、遺憾ながら連結業績予想を大幅に下方修正いたしました。現在、グループブランドに対する信頼と業績の早期回復に向け全力を挙げております。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、経営上の最重要課題の一つとして認識しており、基本方針である安定配当に変わりはなく、中間配当75円をお支払いいたします。今後、事業の収益性を重視しながら企業価値の向上に努め、安定的な利益還元を維持してまいります。株主の皆さまにはなお一層のご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などにより一部で持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務危機の長期化、円高やデフレの影響などにより景気は厳しい状況で推移しております。また、中国など新興国経済の失速による世界経済への影響も懸念され、先行きにつきましても不透明な状況が続いております。

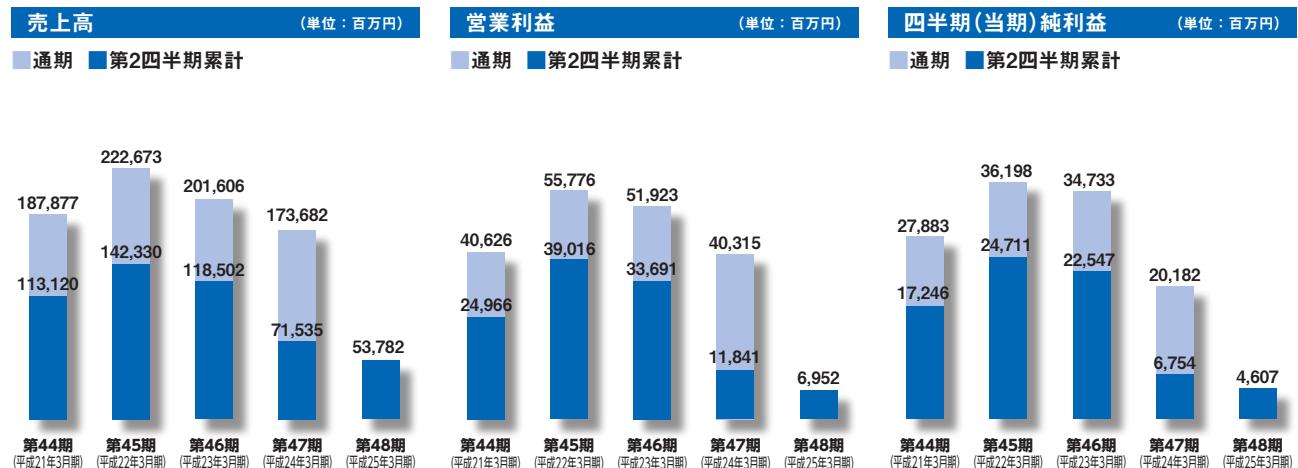
当パチンコ・パチスロ業界におきましては、景気不透明感を背景としたファンの節約志向が続く中、パラーの経営環境は依然として厳しい状況にあります。これを受けパラーは新台購入に対する選別姿勢を強めており、一部の有力商品に需要が集中する傾向が見られます。

このような環境の下、当社グループでは平成24年3月に株式会社ジェイビーを子会社化し、従来のSANKYO、Bistyの2ブランド体制から新たに3ブランドでの事業展開を開始いたしました。また、平成

24年4月に日本遊技機工業組合の内規変更が実施されたことに伴い、当社グループでは他社に先駆けて新内規に対応したパチンコの市場投入に成功しております。加えて、パチンコ・パチスロの魅力をもっと高めることを目的に、モバイルと遊技機の連動サービスである「パワパチ」「パワスロ」も開始いたしました。こうした取り組みの結果、SANKYOブランドのパチスロ「パチスロ マクロスフロンティア はじまりの歌、銀河に響け!」(平成24年4月)が長期に亘ってファン人気を獲得し、パチスロ市場において当社グループの存在感を示すことができました。

しかしながら、その他の商品につきましても総じて販売が伸び悩んだため、平成24年9月13日に公表したとおり業績予想修正を余儀なくされるに至り、売上高537億円(前年同四半期比24.8%減)、営業利益69億円(同41.3%減)、経常利益76億円(同44.9%減)、四半期純利益46億円(同31.8%減)となりました。

決算ハイライト(連結) Consolidated Financial Highlights



セグメントの業績は次のとおりであります。

● パチンコ機関連事業

SANKYOブランドにおいて人気シリーズ第3弾となる「フィーバー創聖のアクエリオンⅢ」(平成24年7月)を中心に販売を行い、Bistyブランドではエヴァンゲリオンシリーズ最新作のライトスペック「EVAライトⅢ」(平成24年5月)、株式会社カプコンの人気ゲームとタイアップした「戦国BASARA3～関ヶ原の戦い～」(平成24年7月)を販売いたしました。また、JBブランドでは他社に先駆けて新内規対応の「ウイルスブレイカー」(平成24年6月)を販売いたしました。

この結果、売上高299億円(前年同四半期比40.0%減)、営業利益55億円(同52.5%減)、販売台数89千台となりました。

● パチスロ機関連事業

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで3シリー

ズ、Bistyブランドで2シリーズの販売を行いました。SANKYOブランドでは「パチスロ マクロスフロンティア はじまりの歌、銀河に響け!」(平成24年4月)を中心に、「パチスロ 覇王伝 零」(平成24年9月)などを販売いたしました。Bistyブランドでは漫画作品などで人気を博しているコンテンツとのタイアップである「GTO Limit Break」(平成24年6月)、「夜王」(平成24年8月)を販売いたしました。

この結果、売上高121億円(前年同四半期比11.8%増)、営業利益34億円(同125.5%増)、販売台数38千台となりました。

● 補給機器関連事業

補給機器関連事業につきましては、売上高107億円(前年同四半期比7.8%増)、営業利益4億円(同14.4%増)となりました。

● その他

その他につきましては、売上高9億円(前年同四半期比21.5%増)、営業損失1億円(前年同四半期は2億円の営業利益)となりました。



フィーバー創聖のアクエリオンⅢ

©2004,2007 河森正治・サテライト / Project AQUARION



戦国BASARA3～関ヶ原の戦い～

©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.
©Bisty



パチスロ マクロスフロンティア
はじまりの歌、銀河に響け!

©2007 ビックウエスト / マクロスF制作委員会・MBS

TOPICS ①

SANKYO、Bisty、JBの3ブランド体制始動

当社は平成24年3月に株式会社ジェイビーを子会社化し、従来のSANKYO、Bistyの2ブランド体制から新たに3ブランド体制としております。

JBブランドでは、独創的な商品作りを推進するとともに液晶演出のみでは表現できない娯楽性も取り入れることで商品の差別化を図ってまいります。今後は従来以上に多様な商品戦略が可能になると考えており、SANKYO、Bisty、JBによる3ブランド体制をいち早く軌道に乗せることでグループの総合力を高めてまいります。

SANKYO

Bisty



TOPICS ②

個人投資家の皆さまを対象としたIR活動のご案内



当社は投資家層の拡大を図るため個人投資家さま向けのIRイベントへ参加しており、平成24年8月31日・9月1日には東京ビッグサイトで開催された「日経IRフェア2012」へ4年連続となる出展をいたしました。また、昨年より全国主

要都市において個人投資家さま向けの会社説明会も開催しており、これらのイベントを通じて株主さま・投資家さまとのコミュニケーションの機会を積極的に設けることで、より良い信頼関係を構築できるよう努めてまいります。

● IRイベントの予定・報告などにつきましては、当社ホームページからご覧いただけます。

[トップページ](#)
[IR情報](#)
[IRカレンダー・イベント](#)
<http://www.sankyo-fever.co.jp/ir/index.html>

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成24年3月31日現在)
●資産の部		
流動資産	317,394	365,423
固定資産	122,557	130,564
有形固定資産	48,492	39,132
無形固定資産	3,945	3,356
投資その他の資産	70,119	88,075
資産合計	439,951	495,988
●負債の部		
流動負債	24,326	69,614
固定負債	8,180	8,069
負債合計	32,507	77,684
●純資産の部		
株主資本	406,290	416,595
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,880	23,880
利益剰余金	388,501	398,805
自己株式	△20,931	△20,930
その他の包括利益累計額	1,154	1,708
その他有価証券評価差額金	1,154	1,708
純資産合計	407,444	418,303
負債純資産合計	439,951	495,988

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
売上高	53,782	71,535
売上原価	26,367	38,934
売上総利益	27,415	32,600
販売費及び一般管理費	20,463	20,759
営業利益	6,952	11,841
営業外収益	876	2,099
営業外費用	161	11
経常利益	7,668	13,928
特別利益	—	8
特別損失	26	2,368
税金等調整前四半期純利益	7,641	11,568
法人税、住民税及び事業税	2,859	4,908
法人税等調整額	174	△94
法人税等合計	3,034	4,813
少数株主損益調整前四半期純利益	4,607	6,754
四半期純利益	4,607	6,754

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,089	2,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,984	△4,864
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,030	△10,824
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,925	△13,239
現金及び現金同等物の期首残高	239,591	243,230
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	322	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	229,989	229,990

●会社概要

- 商号 株式会社 SANKYO
(登記社名 株式会社 三 共)
- 本社 東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
- 設立 昭和41年4月
- 資本金 148億4千万円
- 従業員数 連結：1,155名 単体：893名
- 主要な事業内容 遊技機(パチンコ機、パチスロ機)の製造及び販売、補給機器等の設計施工及び販売
- 連結子会社 株式会社三共エクセル
株式会社ビスティ
株式会社三共クリエイト
インターナショナル・カード・システム株式会社
株式会社ジェイビー
株式会社吉井カントリークラブ
株式会社オン・ザ・ネット
- 持分法適用会社 フィールズ株式会社

●役員

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 名誉会長 | 毒島 邦雄 |
| 代表取締役会長 CEO | 毒島 秀行 |
| 代表取締役社長 COO | 筒井 公久 |
| 取締役専務執行役員 管理本部長 兼 総務部長 | 石原 明彦 |
| 常勤監査役 | 鶴川 詔八 |
| 監査役 | 石山 俊明 |
| 社外監査役 | 真田 芳郎 |
| 社外監査役 | 野田 典義 |
| 常務執行役員 商品本部長 | 瀬瀬 聡 |
| 常務執行役員 製造本部長 | 瀧本 淳子 |
| 常務執行役員 営業本部長 兼 販売戦略部長 兼 本店営業部統括部長 | 富山 一郎 |
| 執行役員 営業本部 パーラー事業部長 | 吉川 実 |
| 執行役員 管理本部 情報システム部長 | 古平 博隆 |
| 執行役員 商品本部副本部長 | 福田 裕 |
| 執行役員 商品本部副本部長 兼 商品戦略室長 | 東郷 敏二 |
| 執行役員 知的財産本部長 兼 知的財産部長 | 小倉 敏男 |
| 執行役員 製造本部副本部長 兼 三和工場長 | 高井 克昌 |
| 執行役員 管理本部 経理部長 | 大島 洋子 |

●株式の状況

発行可能株式総数	144,000,000株
発行済株式総数	97,597,500株
単元株式数	100株
株主数	12,816名

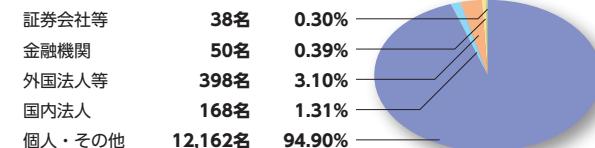
●大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
有限会社マーフコーポレーション	15,050	15.42
有限会社群馬創工	14,196	14.54
毒島邦雄	7,089	7.26
株式会社SANKYO	3,970	4.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,951	3.02
毒島秀行	2,906	2.97
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	2,616	2.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,576	2.63
ステートストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,570	2.63
赤石典子	2,333	2.39

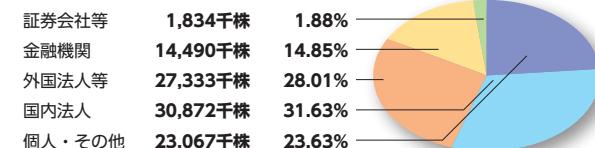
(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は平成24年9月30日現在の発行済株式総数に対する比率であり、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

●株式分布状況

株主数構成比



所有者別株式分布



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときはあらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
(ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.sankyo-fever.co.jp/koukoku.html なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行うものとします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。



株式会社 SANKYO

本 社：東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号 TEL. (03) 5778-7777 (代表)
<http://www.sankyo-fever.co.jp/>